

百瀬 澄昭 さん

第48回「県民の日」記念作文コンクール最優秀賞受賞!!

11月14日の「県民の日」を記念して行われる作文コンクールにおいて、東秩父中学校3年生の百瀬澄昭さんが書いた「正調秩父音頭の輪の中で」が「最優秀作品」に選ばれました。これは、「県民の日」記念作文コンクールで最も優秀な作品に贈られる賞であり、県内で百瀬さん1名が受賞した栄光ある賞です。

同日、さいたま市の埼玉会館にて表彰式があり、百瀬さんは大舞台上で上田清司知事より表彰状を授与されました。また、1,000人近くの出席者の前で作文を発表し、自身が正調秩父音頭を習った体験を、まじめな部分もふまえコミカルに伝え、笑いを誘ったり、関心を与えたりと、聞く人たちに堂々たる勇姿を披露しました。百瀬さんは緊張を特にしなかったようで、笑顔で発表を楽しんでいたようです。

すべての式典が終了したあと、百瀬さんは初めて会った人にも「堂々としていてすごかったね」や「素敵な内容の作文が聞けてよかったわ」と次々に話しかけられ、瞬く間に人気者になりました。中学生最後の秋に、良い思い出が出来たことなのでしょう。本当におめでとうございます！



平成30年度埼玉県消防協会比企支部 消防操法大会 東秩父消防団3位入賞!!

10月21日(日)、比企広域消防本部総合訓練場にて、比企支部消防操法大会が晴天のもと開催され、比企地区から団員たちが集まり、消防の操法を競い合いました。その結果、東秩父消防団はみごと3位入賞を果たしました。



4番員・馬場貴志さんにインタビュー

長い間、操法の訓練をしてきて、つらかったこと、嬉しかったことは？

各団より隊員が集まったので、普段関わることの少ない人たちと一緒にできて良かったです。

つらい訓練を支えてくれた人は？

各分団長が周りの状況を見ながら的確な指示をしてくれたことがとても安心できました。また、手伝いに来てくれていた団員の一人ひとりの力がなければこの結果は出なかったでしょう。

3位入賞の決め手は？

団結力もそうですが、隊員全員の1つ1つの動きが的確だったこと、みんながみんな努力したことだと思います。

今回の受賞を受けて、今後の活動に生かしていくことは？

部に持ち帰り、今度は部で教える立場になりたいです。その教えた人たちがまた活躍できるように、また、みんなが素早い操法が出来れば村の安全をより守れるようになります。

最後に一言！

先人の積み重ねがあったからこそ今回の結果につながったのだと思います。継続は力なり。見えなくても努力は実りますよ。

指揮者	副分団長	福島	光章
1番員	団員	久保	拓也
2番員	団員	飯野	優介
3番員	団員	戸田	敦士
4番員	団員	馬場	貴志
補助員	団員	吉沢	光洋 (敬称略)

この大会は各消防団の模範的な操法の実演により、消防団員の技術の向上と士気の高揚を図り、消防活動の充実発展に寄与することを目的として2年に1度開催されています。

出場選手の皆さんは各比企地区の町と東松山市の消防団の操法を

見ているなかで、緊張が増していきましたが高田団長の叱咤激励の指揮もあり、引き締まった思いで本番に臨むことができました。タイム的には6、7位でしたが、安全確認や規律等の加算により、3位入賞となりました。皆さん、おめでとうございます。